

平成 29 年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第 22 回デザイン分科会

期 日：平成 29 年 12 月 7 日（木）～12 月 8 日（金）

場 所：1 日目／ デザイン分科会 第 11 回研究発表会

日時＝12 月 7 日（木）13:00～17:00（受付開始 12:30～）

場所＝静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター（CCC）

2 F 多目的ルーム 静岡市葵区七間町 1 5-1（TEL: 054-205-4750）

2 日目／ 視察研修会

日時＝12 月 8 日（金）8:10～17:00

場所＝①ヤマハ発動機株式会社 静岡県磐田市新貝 2500

②NTN 株式会社 磐田製作所 静岡県磐田市東貝塚 1578

③株式会社河合楽器製作所 竜洋工場 静岡県磐田市飛平松 252

主 催： 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

静岡県工業技術研究所

【1 日目：第 11 回研究発表会（CCC 2 F）】

◆ 受 付（静岡市文化・クリエイティブ産業振興センター 2 F 多目的ルーム前）

デザイン分科会 第 11 回研究発表会（2 F 多目的ルーム）

1. 開 会

2. 挨拶

デザイン分科会長

橋本 晃司

産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会

宮田 なつき

静岡県工業技術研究所長

北川 剛弘

以上、3 名より挨拶を受けた。



3. 研究発表会

1) デザイン振興施策等紹介

[構想設計イニシアティブについて

／産業技術総合研究所 手塚 明]

デザインブレインマッピング(DBM)の紹介と 3/14 に東大本郷キャンパスでシンポジウム開催の通達があった。また、DBM の技術書を発刊予定との連絡もあった。

[デザインを保護する意匠制度の概要と近年の取組について

／特許庁意匠課 藤澤 崇彦]

デザイナーのための知財教材を紹介を細かく説明していただいた。

[中小機構の販路開拓支援事業

／中小企業基盤整備機構 岸 耕一]

地域製品を海外展開する Rin-Crossing を紹介と利用促進を資料を基に説明していただいた。

2) ライトニング・プレゼンテーション・前半

座長 静岡県工業技術研究所 佐野 禎彦

① 新製品開発のための企画づくり支援の取り組み

中小製造業の製品企画立案支援等について解説していただいた。

／北海道立総合研究機構 工業試験場 日高 青志

② 高級伝統家具の新商品開発

伝統の鏡台を現代仏壇へ 3D CAD を使用してデザイン開発についての報告があった。

／徳島県立工業技術センター 室内 聡子

③ 身体動作シミュレーションを使用した製造器具の形状検討

産総研の人材育成事業活用し、「やすりのグリップ」をデジタルヒューマンで研究した報告があった。

／山梨県産業技術センター甲府技術支援センター 鈴木 文晃

④ 作りたいをサポート!

食品技術センター隣接を活かした食品パッケージのデザイン指導等、報告があった。

／宮崎県工業技術センター・食品開発センター 関屋 千草

- ⑤ 広島発・感性イノベーション ～人の琴線に触れるデザインを地場産業へ～
感性イノベーション推進協議会での製品開発支援の紹介があった。
／広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 橋本 晃司
- ⑥ 京都の特性や強みを活かした産業のあり方に関する研究
試作ネットで価格競争が厳しい状況下で、産業の高付加価値化を調査した結果の報告があった。
／京都府中小企業技術センター 古郷 彰治
- ⑦ デザインブラッシュアップ講座の紹介
企業のデザイン課題を大学と公設試連携で解決する講座の紹介があった。
／福岡県工業技術センター 石川 弘之
- ⑧ 「と、つくる」
企業とデザイナーのマッチングサイト「と、つくる」の紹介があった。
／（公財）広島市産業振興センター 大川 泰明
[ものづくり・地域・UD・その他（8件）]

ライトニング・プレゼンテーション・後半

座長 三重県工業研究所窯業研究室伊賀分室 榎谷 幹雄

- ⑨ 現代家屋における嗜好調査
漆製品のカラーニーズについて調査報告があった。
／青森県産業技術センター 弘前地域研究所 鳴海 愛
- ⑩ 企業とデザイナーの対談イベント
企業とデザイナー、公設試連携についてイベントに取組んだ報告があった。
／埼玉県産業技術総合センター 大沼 勇樹
- ⑪ デザイン振興施策事業に関するアンケート調査 集計結果
デザイン振興・研究開発での各県予算を調査した結果の報告があった。
／大阪府産業デザインセンター 川本 誓文
- ⑫ 「デジタル×モノづくり」
Solidworks や Illustrator の技術者育成講習会等について説明があった。
／静岡県工業技術研究所 多々良 哲也
- ⑬ 人間工学に基づくクランプ・レバーノブの形状設計
企業相談から、人間工学と3Dデザインによるクランプレバー改善した成果の報告があった。
／静岡県工業技術研究所 易 強
[ものづくり・地域・UD・その他（5件）]

以上、13テーマのライトニング・プレゼンテーション発表があった。

3) 研究発表[研究及び開発支援事例（2件）]

① はだし教育用ソックスの開発

子供の外反母趾や浮き趾予防に「はだし教育」が注目されるが、異物での怪我が課題である。その解決策として超高分子量ポリエチレンを足裏に用いた靴下を開発した事例の紹介があった。

／奈良県産業振興総合センター 澤島 秀成

② 日本の生活関連製品に対する外国人の潜在的ニーズ抽出検討

オリンピック需要に向けた訪日外国人向けの生活関連製品創出の研究で、生活動作を視線計測装置等やクラスタリングマトリクスで分析した結果の報告があった。

／東京都立産業技術研究センター 橋本みゆき

以上、2テーマの研究発表があった。



4) 全体質疑応答

5) 全体会議

- ・ 「運営要領・細則へのOB会員に関する規則の追記」意見集約結果の報告
- ・ 「OB 会員に関する規則の追記」結果報告について会長から報告があった。承認後、決議した。※後日配布資料参照
- ・ デザイン分科会の取組みについて会長から報告があった。未参画機関をとりこむため、

新技術のワークショップやサポイン等申請勉強会の盛込みを検討していくこととなった。 ※後日配布資料参照

- ・ デザイン分科会としての取組みについて
- ・ デザイン分科会運営と春の分科会について
- ・ 次期デザイン分科会長あいさつ 佐賀県工業技術センター 川口 比呂志
- ・ 提案・要望事項
石川県の餘久保氏より宮田副部長からの案内で参加し大変に参考になったとの意見があった。
- ・ 次年度開催県の紹介と挨拶
北海道立総合研究機構 日高 青志 (平成 30 年春 開催県)
1 月に開催内容のアンケート予定している。開催は、6 月頃の予定である。
埼玉県産業技術総合センター 赤坂 拓郎 (平成 30 年秋 開催県)
ディスカッションを盛込みたいと考えている。IFFT とセットの予定である。
- ・ ライトプレゼン表彰(開催県から賞状と副賞を授与)
1 位 : 広島市, 2 位 : 広島県, 3 位 : 大阪府
※次年度の秋開催時は、研究発表表彰とライトプレゼン表彰の両方を行えるよう会長と幹事県で企画することを 2 日目のバスで報告した。



4. 閉 会

【 2 日 目 : 視 察 研 修 会 】

- ・ 集合場所 : JR 静岡駅南口スルガ銀行静岡南支店前
※ 貸切バスにて研修先へ移動 (経由地 : 静岡 I. C. ~ 東名高速道 ~ 磐田 I. C. ~ 磐田市新貝)

◆ 視察見学会 (静岡県産業のフラッグシップ、二輪車・ボート等)

場所 : ヤマハ発動機株式会社 コミュニケーションプラザ

概要 : ヤマハ発動機の歴史や創業以来の代表的な製品のビデオを鑑賞後、世界に愛されている二輪車、ボートやスノーモービル、電動アシスト自転車、産業ロボットなど、陸・海・空館で活躍する製品を見学した。「人機官能」をフィロソフィーとしてデザインに取り組んでいる。



◆ 視察見学会（等速ジョイントの製造工程）

場所：NTN 株式会社 磐田製作所

概要：建設機械や鉄道車両、農業機械、航空・宇宙などさまざまな産業機械分野の製造を行っている企業である。全体説明を受けた後、自動車部品である等速ジョイント製造工程を視察研修した。ドライブシャフトで最大手であるがエレキ化に向け 360 度方向転換可能なインホイールモータの研究開発を進めている。



※ 磐田駅にて連絡交通機関の都合により、途中下車 8 名

◆ 視察見学会（日本を代表する楽器・ピアノ産業）

場所：株式会社河合楽器製作所 竜洋工場

概要：グランドピアノを 9500 台／年、生産している。ピアノの構造説明を受けた後、匠の技術による調弦や穴開け加工等の製造ラインを研修視察した。試弾室では学校用 2 台と、ホール用の弾き比べを体験した。響板のスプルー材の違いで、ホール用は樹齢 200 年のものを天然乾燥して使用しているといった説明もあった。



・バスで移動 経由地：磐田駅～磐田 I.C.～東名高速道～静岡 I.C. ～JR 静岡駅南口